

市政の動き

6月定例会報告  
市長総括説明から

6月1日、平成30年第2回市議会定例会が開会しました。

最初に、全国市議会議長会から表彰を受けられた議員にお祝いを述べ①健康増進施設「ウエルストーク豊岡」の利用者が200万人に達したこと②「コウノトリ育むお米」がアラブ首長国連邦・ドバイへ輸出されたことを報告した後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものを説明しました。その概要をお知らせします。

■安全に安心して

暮らせるまち

○豊岡市国民健康保険税条例の改正

豊岡市国民健康保険運営協議会の「平成30年度豊岡市国民健康保険事業運営の基本方針」の答申を受け、この答申の趣旨を尊重し、今議会に関連する条例の改正に係る議案を提出しています。

なお、同事業は、今年度か

ら県単位で実施され、市町は、県への納付金額とともに県から示される標準保険料率を参考に国保税率を決定し、賦課徴収を行います。

被保険者一人当たりの国保税負担額は、対前年度比13・8%減の9万7千43円です。

○兵庫県市町交通災害

共済組合の解散

県内19市町で構成する同組合の「交通災害共済事業」は、近年、加入者が減少の一途をたどり、基金を取り崩しながら事業を継続している状況です。このため、構成市町による検討委員会で協議が重ねられ、共済期間は平成31年度末まで、さらに33年度末をもって組合を解散することとなりました。今議会に、関連する議案を提出しています。

○新生児聴覚検査費助成制度の創設

豊岡市医師会から新生児聴覚検査に対する助成制度創設の要望を受けました。検討の結果、疾患の早期発見への支援は急務であると判断し、本日から助成制度を創設しました。なお助成費用は、当面予備費により対応することとし、

9月議会に関連する補正予算を提出します。

○定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設

社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団から「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の介護保険サービスを開始したいとの申し出があり、本市は、県補助を活用して事業所の開設準備費用などに対する補助金を交付することとしました。今議会に、関連する補正予算を提出しています。

○オトングラス

オトングラスは、視覚障害者のために開発された、書籍などの文章を読み上げてくれるメガネ型の機器です。本市は、全国の自治体で初めて、視覚障害者の日常生活用具給付事業の対象品目に追加することとし、さらに図書館本館にも設置します。

今議会に、関連する補正予算を提出しています。

■人と自然が共生するまち

○「バードフェア2018」

8月17日から19日まで、英国で世界最大の野鳥観察会「バードフェア2018」が開

催されます。同フェアは大変人気が高く、500を超えるブースが出展し、出展希望がかなわない企業や団体は数百に上ります。同フェアへの出展の打診が本市にありました。同フェアの会長がインドのバードフェアで、エコジスト・ラン・レヴィ・ヤマモリさん(イスラエル)の豊岡のコウノトリ野生復帰を題材にしたドキュメンタリー映画「KOUINOTORI」を鑑賞され、本市の取組みを世界に発信すべきとして、声を掛けていただきました。

○自然再生アクションプランの生物モニタリング調査

昨年度、コウノトリも住める豊かな環境の再生をより効率的に進める「自然再生アクションプラン」を策定しました。今年度は、同プランに基づきパイロットエリアを2カ所選定し、地元と協働して、自然再生活動に取り組みます。まず、来年度にわたり活動前のモニタリング調査を行うため、今議会に、債務負担行為に係る補正予算を提出しています。

■持続可能な「力」を高めるまち

○川湊再生プロジェクト

竹野地域に年間を通じたにぎわいを創出するため、今年4月、地元団体による「川湊再生プロジェクト運営協議会」が設立されました。キックオフイベントとして、6月23日、本市と同協議会との共催で、劇団わらび座のミュージカル「北前ザンブリーコ」を竹野中学校体育館で上演します。

○観光ビジョンの策定

本市における「観光産業の将来性や可能性」「観光産業の位置付け」「観光のあり方や進むべき方向性」などを明確化する観光ビジョンを策定します。今議会に関連する補正予算を提出しています。

○外国人観光客の動向

第1四半期(1～3月)の外国人延べ宿泊者数は1万3004人で、前年同期比5・2%の増となりました。しかし全国の伸び率(13・1%)と比較すると低い伸び率です。この要因としては、誘客の大部分を占める城崎地域において、日本人の宿泊予約が増加したため、結果として

への出展

催されます。同フェアは大変人気が高く、500を超えるブースが出展し、出展希望がかなわない企業や団体は数百に上ります。同フェアへの出展の打診が本市にありました。同フェアの会長がインドのバードフェアで、エコジスト・ラン・レヴィ・ヤマモリさん(イスラエル)の豊岡のコウノトリ野生復帰を題材にしたドキュメンタリー映画「KOUINOTORI」を鑑賞され、本市の取組みを世界に発信すべきとして、声を掛けていただきました。

外国人の宿泊が圧迫されて減少したからだと考えています。

### ○有害鳥獣のシカ捕獲対策

昨年度の捕獲頭数は、6631頭(有害捕獲4476頭、狩猟捕獲2155頭)です。これは、前年度比63頭の増で、4年連続で捕獲目標頭数の6500頭を超えています。

### ○新型機ATRの就航

5月7日から新型機「ATR42-600」が就航しました。これを契機として、東京直行便の実現に向け、航空会社等と共に、これまで以上の需要拡大の取組みを進めます。

### ○本市への移住者の状況

相談窓口を通じての昨年度の移住者は29組61人で、前年度比約2・3倍となりました。また、今年度(4~5月)の相談件数も前年同期比15件増の29件となった他、7組14人の移住者がありました。

### ○多様性を受け入れ、支え合

りりべラルなまちづくり(シエンダー)

女性にとって働きがいがあり、働きやすい職場への変革に関心をもち企業と協働して「豊岡市ワークイノベーション戦略」を策定します。市役

所では、女性が活躍する組織の実現に向けた「豊岡市役所キャリアデザインアクションプラン」を策定します。今議会に、関連する予算を提出しています。

また、慶應義塾大学と連携し、女性を取り巻く状況を多角的に調査・分析します。

### ■未来を拓く人を育むまち

○中学校空調設備の運転開始  
平成28年度から整備を進めてきた市立中学校の空調設備が完成しました。6月下旬をめどに運転を開始します。なお、開始に当たっては稼働期間や設定温度等の指針を定め適正な運用を図ります。

### ○小学校敷地の取得

今年度、当初予算で取得することとしている中竹野小学校、資母小学校(一部)の借地の他、合橋小学校と資母小学校の残りの借地も取得に向け、今議会に用地測量などの必要な補正予算を提出しています。

### ○専門職大学誘致の進捗状況

専門職大学は、平成33年4月の開学を目指して、夏をめどに基本構想が取りまとめられる予定です。大学は「観光」「文化」の分野での実践教育を

通じ、新たな価値を創造できる専門職業人材を育成します。また、建設適地は、本市での選定の依頼があり、現在候補地の検討作業を進めています。

### ■人生を楽しむ お互いを支え合うまち

○新文化会館整備基本構想 および基本計画の策定

出石文化会館「ひほこホール」および市民会館の老朽度調査を実施した結果、ホール機能を今後20年間維持するには、出石文化会館で約16・4億円、市民会館で約31・9億円が必要となること

が判明しました。今後、市の保有する多くの施設が、順次大規模改修や建て替えの時期を迎え、長期にわたって多額の費用が必要となるため、両会館の両方の改修・維持は、断念せざるを得ないものと判断しています。一方で、市全体として、一定規模の文化ホールの機能は必要です。については両会館のホール機能を統合し、新たな文化会館を適正規模に縮小して整備することとし、新文化会館の整備に向けた基本構

想および基本計画を策定します。今議会に関連する補正予

算を提出しています。関連して、今後10年間の公共施設マネジメントの全庁的な取り組み方や、着実な進め方などを検討し、9月議会には、公共施設等適正管理推進事業債の活用に向けた個別施設計画策定経費などの関係予算を提出します。

### ○玄武洞スポーツ公園の竣工

7月30日、円山川運動公園の移転整備事業として進めてきた玄武洞スポーツ公園の竣工式を行います。同日には、地元団体による3世代交流のグラウンドゴルフ大会が開催されます。また、8月から9月まで行われる少年野球や少年サッカーの主要大会を竣工記念協賛事業として位置付けます。

今後、玄武洞スポーツ公園が多く市民に親しまれ、利用される施設となるよう積極的にPRに努めます。

### ○ポルト日本代表チームへの「コウノトリ育むお米」提供

ポルト日本代表チームは、2年連続で城崎において強化合宿を行っています。昨年9月、フロリダで開催された世界選手権に出場した

日本代表チームに「コウノトリ育むお米」や「誕生の塩」などを差し入れました。後日、チームのコーチから「お陰様でした」と連絡があり、さらに「コウノトリ育むお米を海外遠征に持っていきたい」とのリクエストがありました。

本市としても代表チームを応援したいと考え、J.A.たじまと共同で「コウノトリ育むお米」200kgを7月から9月までのヨーロッパ遠征用に提供します。

### ○生涯学習サロン整備

今議会に必要な補正予算を提出しています。

3月29日、土地建物の所有者と売買契約を締結しました。今後、詳細設計を行い、今秋には改修工事を発注する予定です。主な設計コンセプトは「中心市街地の玄関口にふさわしい外観」「公園(アイティ側)との一体活用に配慮した出入口の設置」「再生可能エネルギーの活用など徹底した環境負荷低減」を掲げています。

生涯学習サロンが、中心市街地のにぎわいと学習の拠点となるよう努めます。